



写真左から) 河野哲士ものづくりマイスター、里見正一ものづくりマイスター
写真右から) 受入担当者の吉野博行教諭、受講者の勅使河原朔さん

ものづくりマイスター派遣先



埼玉県立熊谷工業高等学校

〒360-0832 埼玉県熊谷市小島 820
 学校長：楡居 勝彦
 創立・沿革：大正 9 年 熊谷商業学校
 昭和 13 年 埼玉県熊谷商業学校と改称
 昭和 23 年 熊谷商工高等学校
 昭和 41 年 熊谷商工高校から分離独立
 設置学科：建築科、土木科、電気科、機械科、情報技術科
 全校生徒数：700 名 (H26.7 取材当時)

本校が「とび」の授業を始めたのは、ここ 4 年ぐらいのことです。資格を取得することは、専門校といわれる学校の核になります。よりレベルの高い、効果のある資格を取るとなると、学校の方だけでは無理です。建築を担当している職員は 6 人います。そのうち 4 人が技能士を取得していて、職員も生徒と一緒に勉強するというのも特徴かもしれません。技能士を取得していない職員は、生徒と同じように資格取得に向けてチャレンジしており、職員も生徒と同じように汗をかきながら指導しています。

実施期間	9 月～ 11 月
実施場所	埼玉県立熊谷工業高等学校
受講者数	4 名

教えながらも教えられ 初心に帰って基本を指導

ものづくりマイスター 里見正一 河野哲士

人材育成取組マニュアルをベースに指導

学校の先生から「里見さん、言葉は丁寧ではないほうがいいよ。普段どおりでお願いします」と言われました。本物のプロとして、きちんと指導してほしいということを、先生は要求されたのかもかもしれません。(里見さん)

中央技能振興センターが作成した「技能競技大会を活用した人材育成の取組マニュアル〈とび職種編〉」に基づいて、組み方作業の手順を教えています。このマニュアルをベースとしてできたことは、良かったと思います。(河野さん)

最初は全然分からなくても、回数を重ねてくると段々と分かってくる

回数を重ねていけば寸法も分かってくるし、スピードも出てきます。技能五輪でもたくさんの部材を全部組み上げていきます。最初は全然分からないけど、回数を重ねてくると段々と分かってきます。(里見さん)

作業手順どおりだと、取ったり外したりと、段取りとしてはまだるっこしい感じがしても、安全性を考えると、安全確実にできる方法で教えたほうが間違いないという感じでやっていきました。(河野さん)

生徒が分からないときは、手取り足取り、一緒になって汗を流すのが一番

生徒が私の顔を見て「この野郎、うるせえなあと顔をしていなければいいなと思っていました。生徒に嫌われないようにするというのもなかなか容易ではないです。(里見さん)

全然何も分からないところから教えるというのは一番苦労します。生徒さんが分からないときは、本当に手取り足取り、一緒になって汗を流すのが一番です。(河野さん)

真面目な生徒を指導する「やりがい」

熊谷工業高等学校は、皆が真面目で、真面目な生徒を指導するというのは、こちらとしてもやりがいがあるし、楽です。一所懸命に聞いて、やろうとする意欲のある生徒が本当に多いです。(里見さん)

去年教えた女子生徒が、技能五輪全国大会に挑戦したことが印象に残っています。女子が「とび」職種で技能五輪に参加したのは初めてだと聞きました。女子生徒でよくチャレンジしたと感心します。(河野さん)

生徒の探究心、前向きな姿勢を伸ばす

昨年度、講習を受けた生徒数に比べると、今年は人数的には倍以上です。そうすると受講する側も競争になるのではないかと思います。この競争心と協調性をバランスよく持たせていこうと思います。(里見さん)

生徒の探究心、前向きな姿勢を伸ばせる状況に持っていければよいと思います。自分が辛い中で、頑張ってきたことは忘れないし、サポート役がいて、一緒に組んだという経験があると、余計に忘れないものですから。(河野さん)

マイスターそのものの認定数を増やし、育成していくことも求められる

ものづくりマイスターは、仕事を休んで顔を出している場合が多いため、次の日程が変更になるとなかなか都合がつきません。ものづくりマイスターの仲間をもう少し増やすことが課題だと思います。(里見さん)

職業訓練指導員の免許を取るために講習を受けている人も多いので、そういう人にもものづくりマイスターとして参加してもらい、人数が増えれば活動状況も変わると思います。(河野さん)

素直

初心をわするべからず

ものづくりマイスター (写真左)
里見 正一 (さとみ しょういち)
 昭和 25 年 11 月 8 日生まれ
 昭和 54 年度 1 級技能士 とび (とび作業) 取得
 平成 25 年度 厚生労働省ものづくりマイスター (とび) 認定

ものづくりマイスター (写真右)
河野 哲士 (かわの てつし)
 昭和 34 年 10 月 6 日生まれ
 平成 6 年度 1 級技能士 とび (とび作業) 取得
 平成 25 年度 厚生労働省ものづくりマイスター (とび) 認定

難しい問題が出たとき プロに相談することができるという心強さ

受入担当者の声

生徒の体調管理を第一に考えた指導を行った

受け入れのきっかけは、埼玉県職業能力開発協会の県内の関係機関を集めた説明会において、制度の仕組みや内容を知ったことでした。技能五輪全国大会にチャレンジしたいと思っていたのですが、踏み入れたことのない世界でしたから、一からご指導いただきまして、すごく助かりました。

指導を受けるに当たって、学校教育の教育課程と技能の習得を組み合わせようとする平日はなかなか時間が取れません。そこで休日に時間を作っているのですが、そうするとかなり疲れます。生徒の体調管理や、気持ちが乗る・乗らないの波をコントロールしてあげるのには学校側の役目です。どう時間を取るかというのは難しいところです。また、屋外での作業ですので、いつも天気と生徒の体調は気になります。

より高度な技能の習得のためには、 プロの力が不可欠

難しい問題が出たときにプロの方に相談できるので、答えを見つけやすくなって大変助かります。より高度な技能の習得のためには、プロの力が不可欠です。体格のいい子と、小柄の子が同じ時間の中で同じものをつくらせると、日本人独特の、とび独特の動きがないと駄目です。また、外部から来ていただくというのは、すごく刺激になりますので、そういう部分では非常にメリットがあります。

本校としては、資格取得として技能検定3級から始めていますが、「ものづくりマイスター制度」を利用させていただいて、そのステップアップとして技能五輪全国大会にも出場することができました。しかし、技能五輪全国大会に出場できたら、そこで一区切りとなり終わってしまいます。そこから次に進めるような制度が整備されると、もっと先につながるのではないかと思います。



写真) ものづくりマイスターの指導の様子

ものづくりマイスターの指導を もっと受けたい！

受講者の声

ものづくりマイスターの指導がなかったら 技能検定3級に受かっていなかった

ものづくりマイスターの方に直接指導していただけたのが、一番の強みです。昨年、女性の先輩が技能五輪全国大会に参加したのを見て、僕も技能五輪全国大会にチャレンジしたいと思って受講しました。

里見・河野 両マイスターは、図面に載っていないようなことや、時間のさらなる短縮の方法を知っていることがスゴイと思いました。ねじを締めるラチェットを使う速さが、ものすごく速いので、びっくりしました。検定2級の課題から上級になると水平器は使えないので、自分の目や感覚で水平を見ます。クランプを留めながらも、ものづくりマイスターは水平を見てしまう。離れて見なくても分かってしまう(笑)。スゴイです。

最初の頃は水平を見る場合、周りの建物の水平部分を見てやっていましたが、段々と慣れてきて、教わったことを参考にして、自分の感覚として覚えるようにしています。水平器のようにピッタリとはいきませんが、ある程度感覚だけで水平は取れるようになりました。自分なりに感覚を研ぎ澄ましていくと、うまくいくという感じです。これも里見・河野 両マイスターのおかげです。

里見・河野 両マイスターが学校に来てくれる日をもっと増やしてほしいです。始めた頃は体力的にもきつかったのですが、今は体力がついたので大丈夫です。里見・河野 両マイスターが来ていなかったら、技能検定3級も受かっていなかったかもしれない。授業だけだと時間も足りなくて、難しかったと思います。



写真) ものづくりマイスターの指導の様子

【地域技能振興コーナー担当者より】

ものづくりマイスターの所属する(社)埼玉県鳶・土木工業会の皆さんは、非常に協力的で積極的です。ですから、それが学校にも生徒にもきちんと伝わっていて、受ける側も真剣に取り組んでいます。結果、受講した生徒は、技能検定などで優秀な成績で合格しています。

カリキュラム

	指導日	指導内容
1	9/8	技能五輪競技課題「材料の拾い出し、墨付け」
2	9/15	同「敷板の設置及びベースプレートの取付け」
3	9/21	同「根がらみ、柱、つか等 基礎部分の設置(高床部分)」
4	9/28	同「ステージの取付け、階段部分の設置(高床部分)」
5	10/5	同「柱、梁、軒部分の設置(壁の部分)」
6	10/16	同「もや、つか部分の設置(小屋組みの部分)」
7	10/20	同「屋根トラスの設置(小屋組みの部分)」
8	11/5	同「下屋部分のステージの設置(片流れの部分)」
9	11/9	同「下屋部分、たる木の設置(片流れの部分)」
10	11/16	同「総合的な取り合の調整」